

## 第8章 接道緑化

### 1. 接道緑化の現況

#### 1-1 接道緑化の概況

区内の公道（国道、都道、区道）に面する延長5m以上の接道緑化（生垣、植込み）の概況を表8-1、箇所の割合を図8-1、延長割合を図8-2に示す。接道緑化箇所は7,106箇所、総延長は118,318mであった。区全体の接道延長の16.8%を占める。内訳では生垣が1,625箇所、26,988m、擁壁上の生垣が191箇所、3,599m、植込みが4,721箇所、77,623m、擁壁上の植込みが569箇所、10,109mであった。

長さ別接道緑化の箇所数と延長を表8-2に示す。箇所数では長さ10m未満が3,112箇所と最も多く全体箇所数の約44%を占めた。また、20m以上が2番目に多く1,583箇所で約22%を占めた。

表8-1 接道緑化の概況

接道緑化区分	箇所	延長(m)	公道接道延長(m)	緑化率(%)
生垣	1,625	26,988	703,344	3.8
擁壁上の生垣	191	3,599		0.5
生垣 小計	1,816	30,587		4.3
植込み	4,721	77,623		11.0
擁壁上の植込み	569	10,109		1.4
植込み 小計	5,290	87,731		12.5
区全体	7,106	118,318		16.8

\*公道接道部延長は令和2年3月31日時点の公道延長の2倍とした。

\*延長は小数第1位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

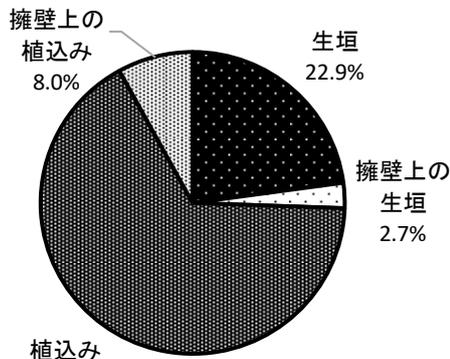


図8-1 接道緑化の箇所割合

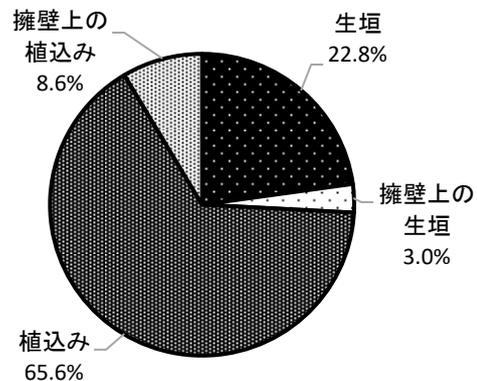


図8-2 接道緑化の延長割合

表8-2 長さ別接道緑化の状況

接道緑化区分	10m未満		10~15m未満		15~20m未満		20m以上		合計	
	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)
生垣	694	4,866	340	4,166	202	3,502	389	14,454	1,625	26,988
擁壁上の生垣	65	430	42	516	26	445	58	2,208	191	3,599
生垣 小計	759	5,296	382	4,681	228	3,947	447	16,662	1,816	30,587
植込み	2,129	14,958	1,070	13,132	529	9,080	993	40,453	4,721	77,623
擁壁上の植込み	224	1,542	130	1,605	72	1,246	143	5,716	569	10,109
植込み 小計	2,353	16,500	1,200	14,737	601	10,326	1,136	46,169	5,290	87,731
区全体	3,112	21,796	1,582	19,418	829	14,273	1,583	62,831	7,106	118,318

\*延長は小数第1位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

## 1-2 地域別の接道緑化の状況

10 地域別の接道緑化の箇所と延長を表 8-3、10 地域別接道緑化箇所の割合を図 8-3 に示す。

箇所数が最も多い地域は四谷地域で 994 箇所であった。次いで笹笥地域の 877 箇所、戸塚地域の 873 箇所であった。また延長が最も長い地域は四谷地域で 18,976 m であり、次いで笹笥地域の 15,108m、大久保地域の 13,477m、戸塚地域の 13,455 m であった。

生垣と植込みの割合（ともに擁壁上のものを含む）では、戸塚地域、落合第一地域、落合第二地域が生垣の割合が他地域と比較して高いことがわかる。特に落合第二地域は箇所、延長ともに 4 割以上が生垣であった。生垣の割合が高い 3 地域以外は植込みの割合が高く、8 割近くが植込みであった。特に新宿駅周辺地域では箇所、延長ともに 9 割近くが植込みであった。落合第二地域は古くから住宅地が形成され、台地部には低層の個人住宅を中心とする住宅地が分布しており、生垣の箇所及び延長が多いと思われる。また、新宿駅周辺地域は新宿副都心をはじめとした業務商業ビルが多い地域であり、植込みの箇所及び延長が多いものと思われる。

表 8-3 10 地域別接道緑化の箇所と延長

地域	生垣		擁壁上の生垣		生垣 小計		植込み		擁壁上の植込み		植込み 小計		合計	
	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)
四谷地域	188	3,701	21	602	209	4,303	717	13,521	68	1,152	785	14,673	994	18,976
笹笥地域	165	3,017	30	543	195	3,561	609	10,351	73	1,197	682	11,547	877	15,108
榎地域	129	1,863	10	140	139	2,003	418	5,460	31	357	449	5,816	588	7,820
若松地域	98	1,512	7	94	105	1,606	341	6,433	43	801	384	7,234	489	8,839
大久保地域	143	3,198	13	229	156	3,427	552	9,405	38	645	590	10,050	746	13,477
戸塚地域	254	3,916	25	414	279	4,330	553	8,282	41	843	594	9,125	873	13,455
落合第一地域	213	3,186	34	613	247	3,799	397	5,571	57	1,117	454	6,688	701	10,487
落合第二地域	259	3,604	40	606	299	4,210	343	4,144	65	953	408	5,097	707	9,307
柏木地域	114	2,001	2	78	116	2,078	390	7,195	22	514	412	7,709	528	9,788
新宿駅周辺地域	62	991	9	280	71	1,270	401	7,262	131	2,531	532	9,792	603	11,062
区全体	1,625	26,988	191	3,599	1,816	30,587	4,721	77,623	569	10,109	5,290	87,731	7,106	118,318

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

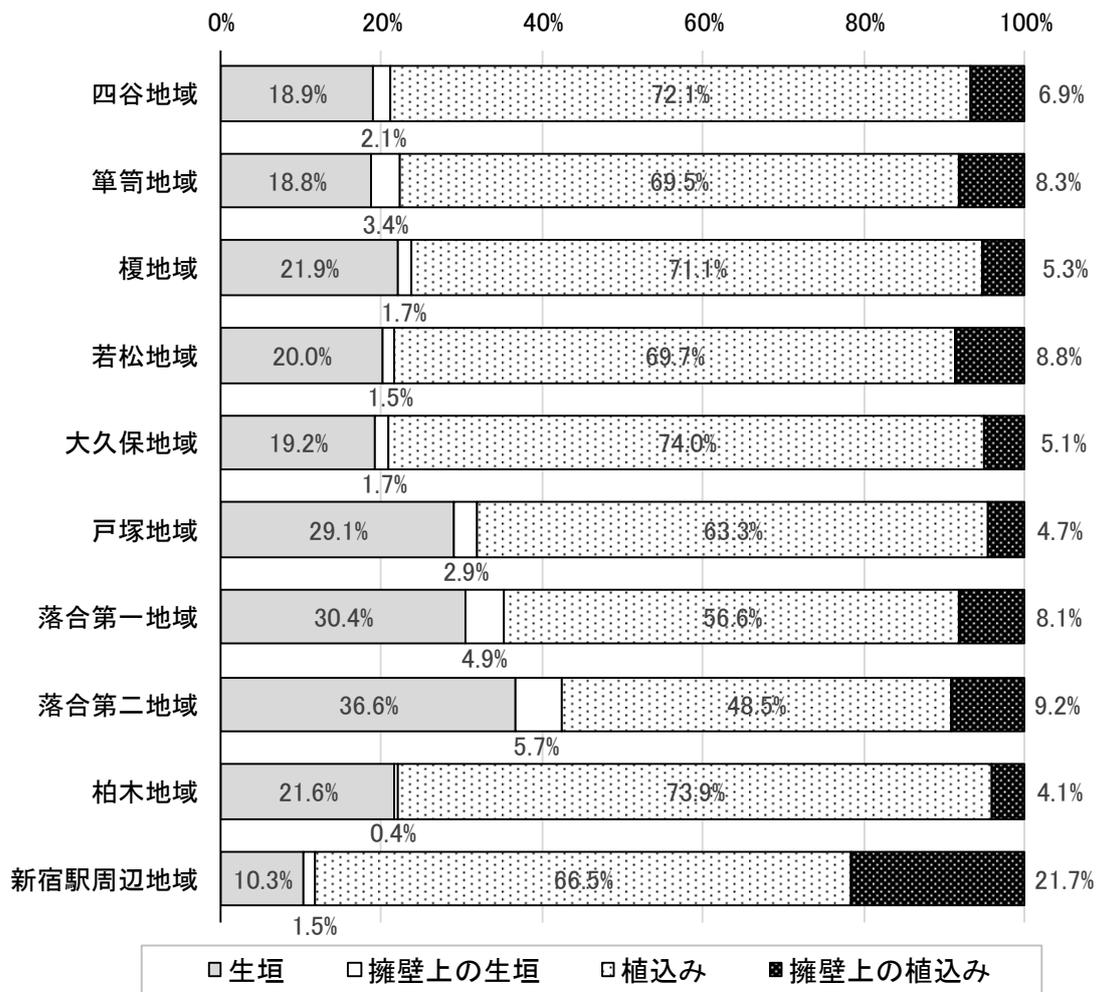


図 8-3 10 地域別接道緑化箇所の割合

### 1-3 土地用途別の接道緑化の状況

土地用途別接道緑化の箇所数と延長を表 8-4、土地用途別接道緑化箇所の割合を図 8-4 に示す。

集合住宅が箇所数、延長ともに最も多く、3,173 箇所、45,025mであった。集合住宅の箇所数が全体箇所数の約 45%を占める。次いで事業所が 1,249 箇所、20,145 m、個人住宅が 1,021 箇所、10,028mであった。また、集合住宅では生垣（擁壁上のものを含む）の割合が 30.2%（3,173 箇所のうち 959 箇所）と高い一方、事業所では植込み（擁壁上のものを含む）の割合が 88.5%（1,249 箇所のうち 1,105 箇所）と高い。

平成 28 年土地利用構成では集合住宅 32.4%、事業所（事務所建築物、専用商業施設、専用工場等）26.1%、独立住宅 21.5%となっており、接道緑化の多い土地利用の順番と同様である。一定規模以上の敷地の接道部には、接道緑化が整備されており、土地利用構成と同様な傾向を示していると考えられる。

また、個人住宅の接道緑化では他の土地用途と比べ、生垣の割合が高くなっているが、箇所数、延長ともに生垣よりも植込みが多い結果となった。

表 8-4 土地用途別接道緑化の状況

土地用途	生垣		擁壁上の生垣		生垣 小計		植込み		擁壁上の植込み		植込み 小計		合計	
	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)
公園	38	853	5	189	43	1,042	293	9,167	53	1,834	346	11,001	389	12,042
学校	88	2,071	13	423	101	2,494	276	6,339	50	1,359	326	7,698	427	10,193
公共施設	74	1,738	12	400	86	2,138	307	6,361	45	991	352	7,352	438	9,489
寺社境内	44	724	14	278	58	1,002	121	1,834	16	250	137	2,083	195	3,086
集合住宅	880	14,620	79	1,366	959	15,986	2,057	26,736	157	2,302	2,214	29,038	3,173	45,025
個人住宅	333	3,369	55	666	388	4,035	528	4,823	105	1,171	633	5,994	1,021	10,028
事業所	133	2,203	11	253	144	2,456	976	15,757	129	1,932	1,105	17,690	1,249	20,145
その他	35	1,410	2	24	37	1,434	163	6,606	14	269	177	6,875	214	8,309
区全体	1,625	26,988	191	3,599	1,816	30,587	4,721	77,623	569	10,109	5,290	87,731	7,106	118,318

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

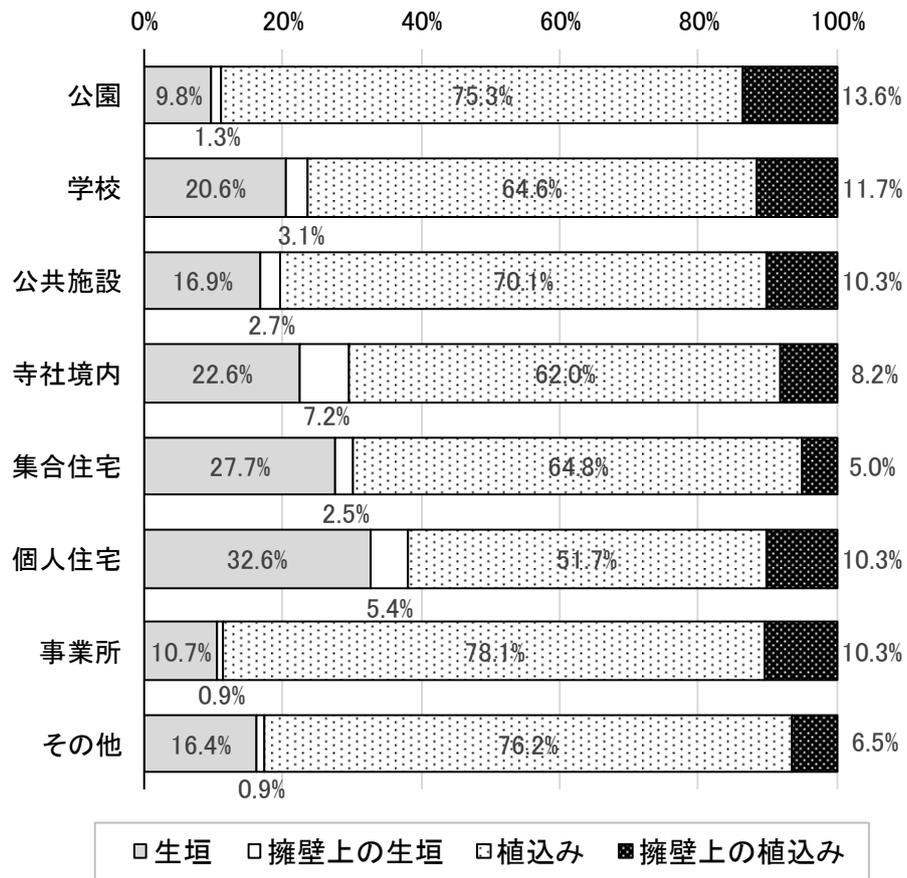


図 8-4 土地用途別接道緑化箇所の割合

#### 1-4 接道緑化の生育等状況

接道緑化の現地調査では、刈り込み状況と生育状況について3段階（良好、普通、不良）の判定を行った。接道緑化の刈込と生育の状況を表8-5、刈り込み状況を図8-5、生育状況を図8-6に示す。

刈り込み状況では、生垣は垣根の状態を維持するためには刈り込みが必要であることから、植込みよりも刈り込み状況が良好なものが多い結果であった。刈り込みが良好な生垣は全体の約10%、擁壁上の生垣は約15%であった。また、生垣、植込みともに不良と判定された箇所数は少なく、適正な維持管理が行われていることが分かる。

生育状況では、良好なものは植込みよりも生垣の割合が高くなっている。一方で、不良なものも植込みよりも生垣の割合が高い。

表8-5 接道緑化の刈り込みと生育状況

単位:箇所

項目		生垣	擁壁上の生垣	生垣小計	植込み	擁壁上の植込み	植込み小計	合計
刈込状況	良好	177	30	207	201	61	262	469
	普通	1,417	157	1,574	4,445	494	4,939	6,513
	不良	31	4	35	75	14	89	124
計		1,625	191	1,816	4,721	569	5,290	7,106
生育状況	良好	125	22	147	180	50	230	377
	普通	1,447	159	1,606	4,443	509	4,952	6,558
	不良	53	10	63	98	10	108	171
計		1,625	191	1,816	4,721	569	5,290	7,106

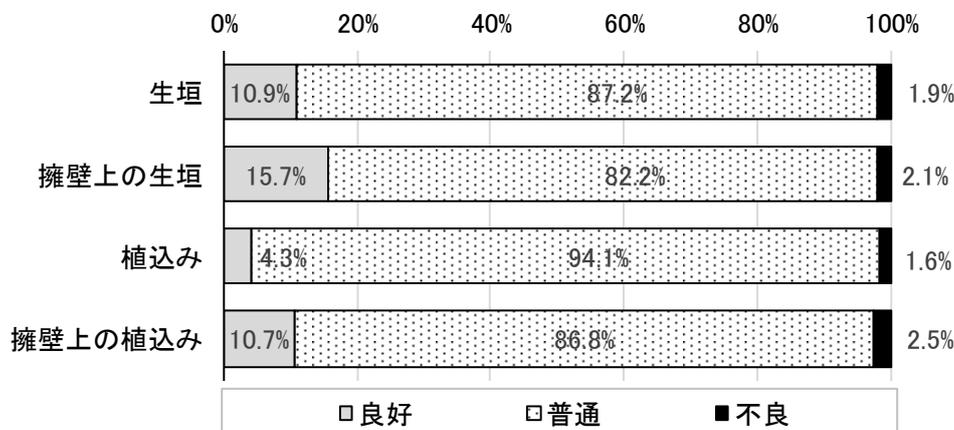


図8-5 接道緑化の刈り込み状況

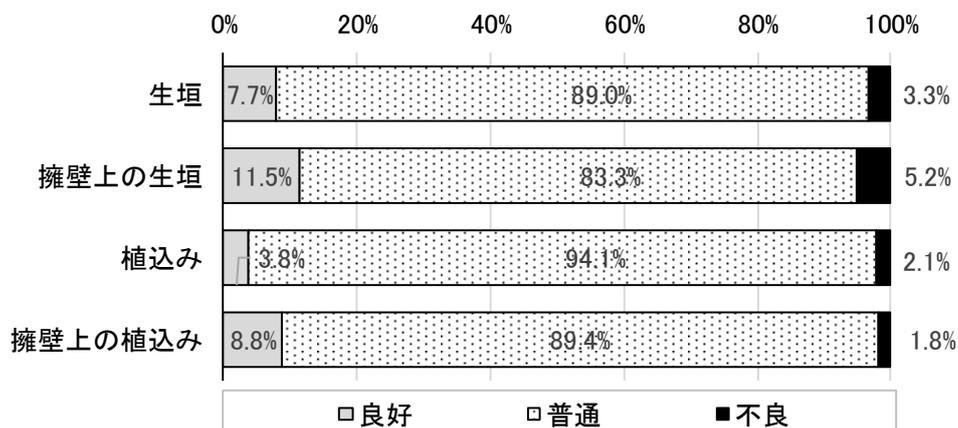


図8-6 接道緑化の生育状況

### 1-5 生垣の状況

地域別の生垣の状況を表 8-6、長さ別生垣箇所数の割合を図 8-7、10 地域別・長さ別生垣箇所数の割合を図 8-8 に示す。なお接道緑化区分の「生垣」と「擁壁上の生垣」を集計の対象とした。

箇所数が最も多い地域は落合第二地域の 299 箇所であった。10m未満のものが 149 箇所、約 50%を占めていた。延長が最も長い地域は戸塚地域で 4,330mであった。次いで、箇所数では戸塚地域の 279 箇所、落合第一地域の 247 箇所であった。延長では四谷地域の 4,303m、落合第二地域の 4,210mであった。一方、箇所数、延長共に最も少ない地域は、新宿駅周辺地域の 71 箇所、1,270mであった。

1ha 当たりの延長では落合第二地域が最も長く 27.3m、新宿駅周辺地域が最も短く 7.8mであった。

表 8-6 10 地域別の生垣の状況

地域	箇所数 (箇所)					植栽延長 (m)	1ha当たり植栽延長 (m/ha)
	10m未満	10~15m未満	15~20m未満	20m以上	合計		
四谷地域	70	40	35	64	209	4,303	13.4
箆笥地域	71	43	29	52	195	3,561	16.0
榎地域	69	30	13	27	139	2,003	14.4
若松地域	45	23	16	21	105	1,606	10.2
大久保地域	55	24	25	52	156	3,427	16.5
戸塚地域	124	61	27	67	279	4,330	24.7
落合第一地域	104	62	29	52	247	3,799	24.0
落合第二地域	149	60	34	56	299	4,210	27.3
柏木地域	43	26	15	32	116	2,078	16.4
新宿駅周辺地域	29	13	5	24	71	1,270	7.8
区全体	759	382	228	447	1,816	30,587	16.8

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

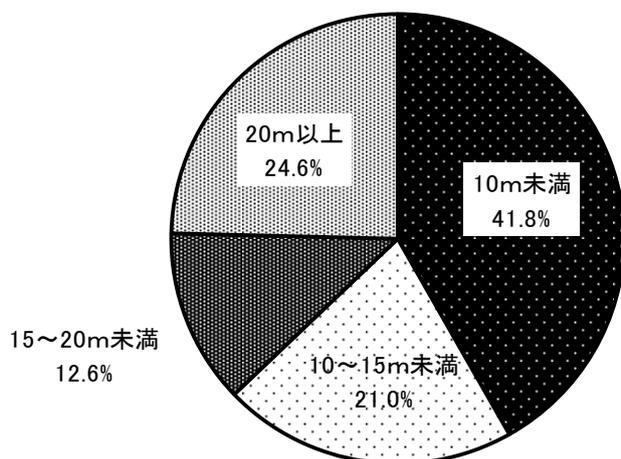


図 8-7 長さ別生垣箇所数の割合

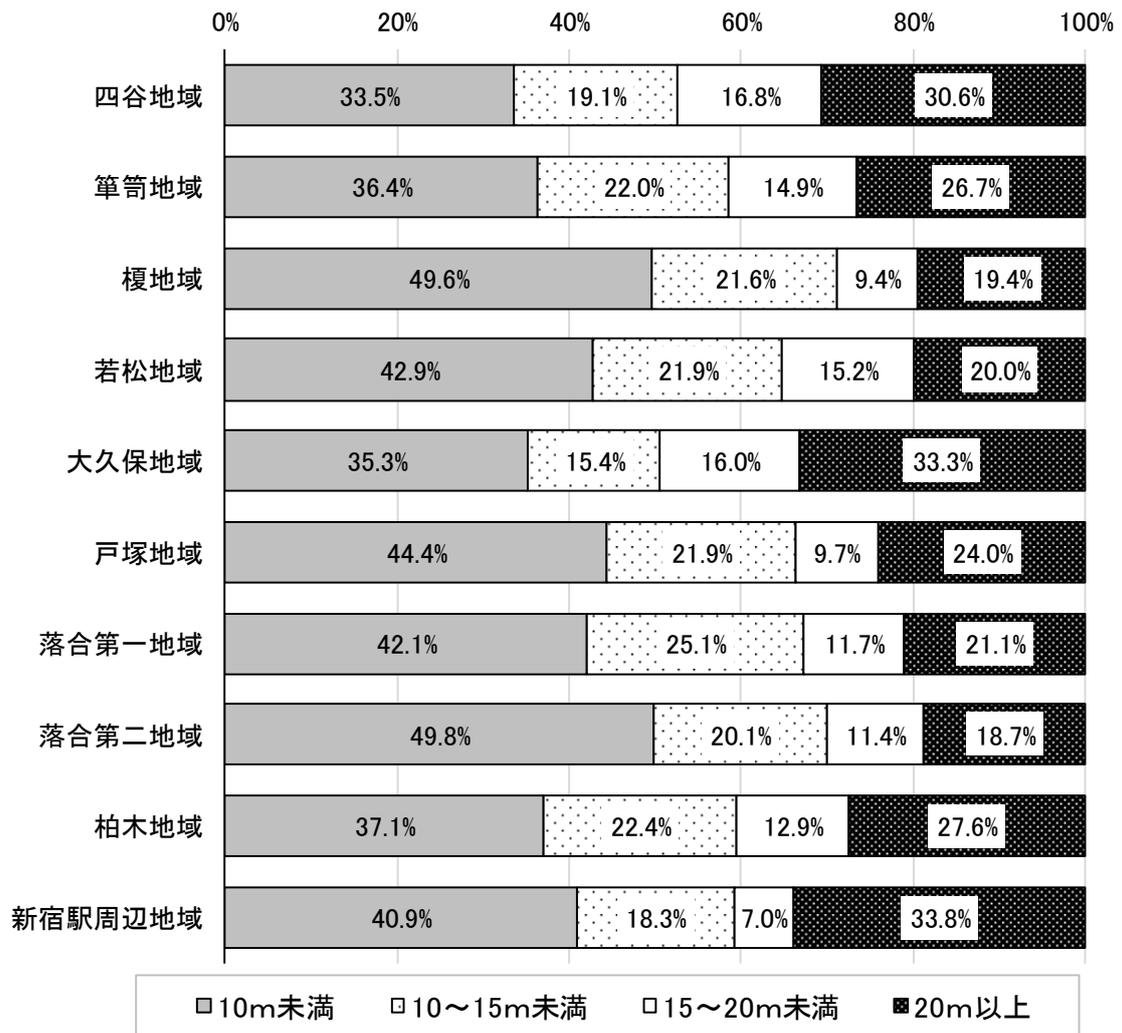


図 8-8 10 地域別・長さ別の生垣箇所数の割合

## 1-6 生垣の樹種の状況

生垣を構成する樹種の状況を表 8-7 に示す。

単植の生垣のうち、最も多い樹種がカナメモチで、488 箇所、7,958mであった。次いでカイヅカイブキ、ヒイラギモクセイ、サザンカの順であった。その他が 612 箇所、10,132mと多いが、そのうち複数の樹種による生垣は 398 箇所、7,240m確認されている。平成 27 年度（第 8 次）調査の箇所数の多い樹種の順番は、カナメモチ、カイヅカイブキ、サザンカ、ヒイラギモクセイであったが、令和 2 年度（第 9 次）調査ではサザンカよりもヒイラギモクセイの箇所数が多く確認された。また、カシ、マサキ、トキワマンサクが箇所数の多い樹種として確認されている。新たに建設された集合住宅や事業所の生垣ではこれらの樹種を用いており、箇所数が増加していると考えられる。

表 8-7 生垣の樹種の状況

樹種	箇所	延長(m)
カナメモチ	488	7,958
カイヅカイブキ	150	2,219
ヒイラギモクセイ	128	2,719
サザンカ	119	1,773
カシ	70	1,237
ツゲ	61	871
キンモクセイ	58	1,344
マサキ	39	757
トキワマンサク	37	576
サワラ	27	553
ツバキ	27	449
その他	612	10,132
合計	1,816	30,587

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

### 1-7 保護生垣の状況

新宿区では、生垣や植込みのうち特にみどりの文化財として保護する必要があると認めるものを保護生垣として指定し、樹木の所有者または管理者に対して、維持管理に必要な費用の一部を助成するなどの支援を行っている。令和3年1月時点の保護生垣は指定件数40件、指定延長1,201mである。

保護生垣の刈り込みと生育の状況を表8-8、刈り込み状況を図8-9、生育状況を図8-10に示す。

保護生垣の刈り込み状況では、良好なものが9箇所、普通が40箇所、不良が2箇所であった。保護生垣の約2割が良好であった。生育状況では良好が10箇所、普通が35箇所、不良が6箇所であった。

表 8-8 保護生垣の刈り込みと生育の状況

単位:箇所

項目		10m未満	10～15m	15～20m	20m以上	合計
刈込 状況	良好	2	1	2	4	9
	普通	8	8	8	16	40
	不良	0	1	1	0	2
計		10	10	11	20	51
生育 状況	良好	1	0	5	4	10
	普通	8	9	5	13	35
	不良	1	1	1	3	6
計		10	10	11	20	51

\*箇所数は接道面でカウントするため、箇所数の合計は指定件数と異なる。

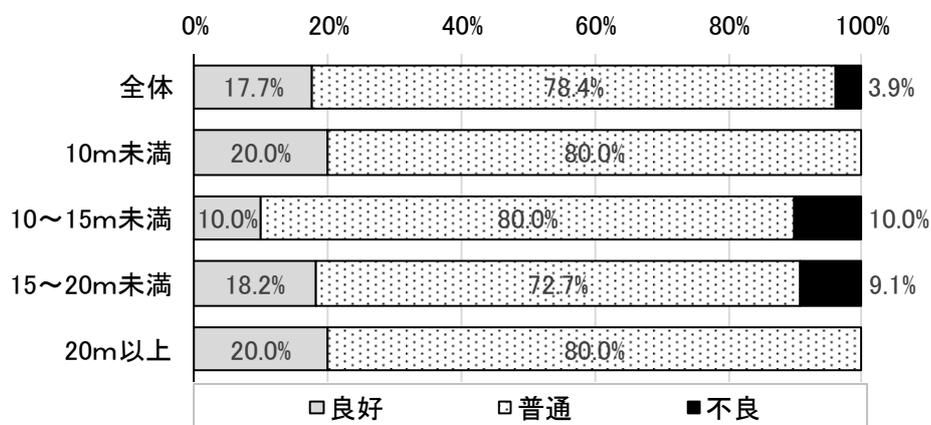


図 8-9 保護生垣の刈り込み状況

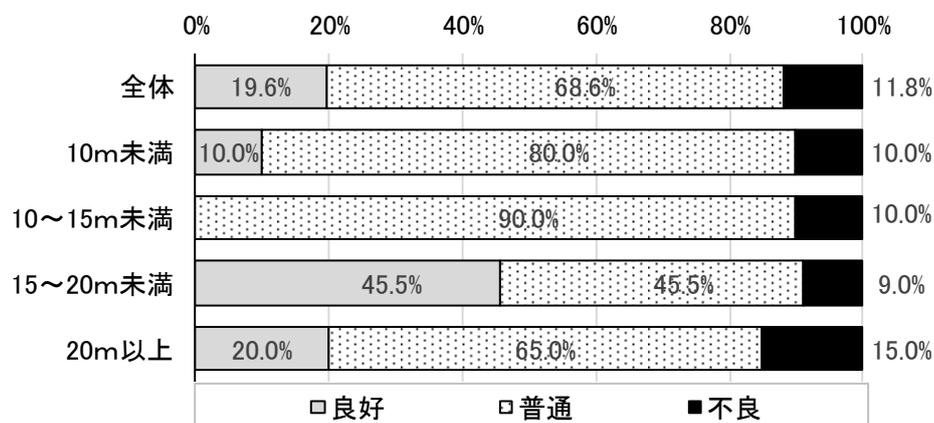


図 8-10 保護生垣の生育状況

## 2. 接道緑化の推移

### 2-1 接道緑化の推移

植込み調査を開始した平成22年度（第7次）から令和2年度（第9次）調査の接道緑化の推移を表8-9、図8-11に示す。

平成27年度（第8次）と令和2年度（第9次）の接道緑化の区全体の推移では、1,083箇所、12,426mの増加であった。生垣は294箇所、4,241mの増加、植込みは721箇所、7,684mの増加であった。擁壁上の生垣は、23箇所、139mの増加、擁壁上の植込みは、45箇所、363mの増加であった。

接道緑化の箇所と延長は、植込みを調査対象とした平成22年度より増加傾向が続いている。新宿区の緑化計画書制度では、敷地面積250㎡以上の建築計画において接道部の緑化が義務付けられており、建築物の建替え等に伴い接道緑化が整備されることから、箇所、延長ともに増加している。また植込みの緑化延長が生垣よりも多いが、延長の伸び率では生垣が約1.2倍、植込みが約1.1倍であり、新たに整備された生垣も多いことが分かる。

表8-9 接道緑化の推移

接道緑化区分	平成22年度 (第7次)		平成27年度 (第8次)		令和2年度 (第9次)		平成27年度→ 令和2年度(増減)	
	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)
生垣	1,220	21,950	1,331	22,747	1,625	26,988	294	4,241
擁壁上の生垣	193	4,337	168	3,461	191	3,599	23	139
植込み	2,644	54,933	4,000	69,938	4,721	77,623	721	7,684
擁壁上の植込み	425	10,639	524	9,746	569	10,109	45	363
区全体	4,482	91,859	6,023	105,892	7,106	118,318	1,083	12,426

\*延長は小数第1位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

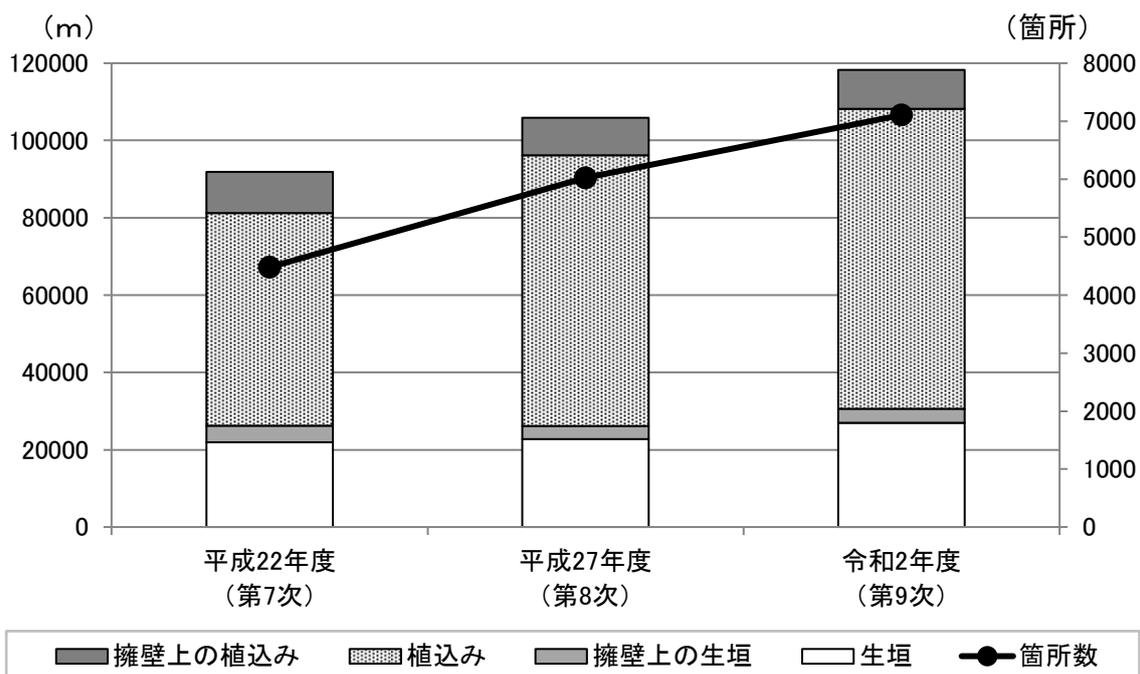


図8-11 接道緑化の推移

平成 27 年度（第 8 次）調査と令和 2 年度（第 9 次）調査の 10 地域別の接道緑化延長の推移を表 8-10 に示す。

接道緑化延長は全ての地域において増加であった。最も緑化延長の増加が大きい地域は笹笥地域で 2,271m、次いで四谷地域が 2,023m、戸塚地域が 1,942m であった。

生垣の増加は戸塚地域が最も大きく 914m の増加であった。次いで、柏木地域が 732m であった。植込みの増加は笹笥地域で最も大きく 1,745m、次いで四谷地域の 1,635m であった。新宿駅周辺地域の植込みが 759m 減少しているが、西新宿二丁目の植込みについて、植込みから擁壁上の植込みとしたためである。

表 8-10 10 地域別の接道緑化延長の推移

単位：延長（m）

地域	生垣			擁壁上の生垣			植込み			擁壁上の植込み			合計		
	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化
四谷地域	3,203	3,701	498	634	602	△ 32	11,886	13,521	1,635	1,230	1,152	△ 78	16,953	18,976	2,023
笹笥地域	2,528	3,017	489	469	543	74	8,606	10,351	1,745	1,234	1,197	△ 37	12,837	15,108	2,271
榎地域	1,516	1,863	347	98	140	42	4,611	5,460	849	446	357	△ 90	6,672	7,820	1,148
若松地域	1,198	1,512	314	129	94	△ 35	5,658	6,433	775	872	801	△ 71	7,858	8,839	981
大久保地域	2,550	3,198	647	230	229	△ 1	8,282	9,405	1,123	714	645	△ 69	11,776	13,477	1,701
戸塚地域	3,002	3,916	914	311	414	103	7,629	8,282	653	571	843	271	11,513	13,455	1,942
落合第一地域	2,991	3,186	195	685	613	△ 72	4,731	5,571	840	1,270	1,117	△ 153	9,677	10,487	810
落合第二地域	3,577	3,604	27	614	606	△ 8	3,675	4,144	469	1,142	953	△ 190	9,008	9,307	299
柏木地域	1,269	2,001	732	104	78	△ 26	6,840	7,195	355	599	514	△ 85	8,812	9,788	975
新宿駅周辺地域	913	991	77	186	280	94	8,020	7,262	△ 759	1,667	2,531	864	10,786	11,062	276
区全体	22,747	26,988	4,241	3,461	3,599	139	69,938	77,623	7,684	9,746	10,109	363	105,892	118,318	12,426

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

平成 27 年度（第 8 次）調査と令和 2 年度（第 9 次）調査の土地利用別の接道緑化延長の推移を表 8-11 に示す。

接道緑化延長の増加が最も大きい土地利用は集合住宅で、7,321mの増加であった。生垣、植込みいずれも集合住宅での増加が最も大きく、それぞれ 3,390m、4,317mの増加であった。集合住宅は平成 23 年と平成 28 年の土地利用現況調査において最も増加が大きい土地利用であり、新たな集合住宅の建設に伴い接道緑化が整備されたものと考えられる。

また、接道緑化延長が減少した土地利用は公園と学校であった。公園は 694m減少しており、減少の主な要因は、都立明治公園の廃園に伴い接道緑化も消失したことによる。

表 8-11 土地利用別の接道緑化延長の推移

単位：延長（m）

土地利用	生垣			擁壁上の生垣			植込み			擁壁上の植込み			合計		
	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化
公園	1,216	853	△ 363	14	189	175	9,845	9,167	△ 678	1,662	1,834	172	12,737	12,042	△ 694
学校	1,876	2,071	195	386	423	37	7,316	6,339	△ 978	1,207	1,359	153	10,785	10,193	△ 592
公共施設	1,441	1,738	297	360	400	40	5,352	6,361	1,009	718	991	273	7,870	9,489	1,619
寺社境内	418	724	306	153	278	125	1,279	1,834	555	216	250	33	2,067	3,086	1,019
集合住宅	11,230	14,620	3,390	1,504	1,366	△ 137	22,419	26,736	4,317	2,552	2,302	△ 250	37,704	45,025	7,321
個人住宅	3,690	3,369	△ 321	680	666	△ 15	4,310	4,823	513	1,274	1,171	△ 103	9,954	10,028	74
事業所	1,913	2,203	290	364	253	△ 111	15,082	15,757	675	2,009	1,932	△ 76	19,368	20,145	777
その他	963	1,410	447	0	24	24	4,335	6,606	2,271	108	269	161	5,407	8,309	2,903
区全体	22,747	26,988	4,241	3,461	3,599	139	69,938	77,623	7,684	9,746	10,109	363	105,892	118,318	12,426

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

## 2-2 生垣の推移

平成17年度（第6次）調査から令和2年度（第9次）調査の長さ別生垣数の推移を表8-12、図8-12に示す。なお接道緑化区分の「生垣」と「擁壁上の生垣」を集計の対象とした。

生垣箇所数は増加が続いており、平成17年度（第6次）調査の946箇所に対して、令和2年度（第9次）調査では約2倍の1,816箇所に増えている。平成22年度（第7次）調査と平成27年度（第8次）調査では、生垣全体で86箇所の増加であったが、令和2年度（第9次）調査では317箇所増加しており、この5年間での生垣の増加量が大きいことが分かる。特に20m以上の生垣は第7次調査と第8次調査では3箇所の増加に対して、第9次調査では64箇所の増加であった。

表8-12 長さ別生垣数の推移

単位：箇所

	平成17年度 (第6次)	平成22年度 (第7次)	平成27年度 (第8次)	令和2年度 (第9次)	平成27年度→ 令和2年度 変化率
10m未満	359	524	604	759	125.7
10～15m未満	203	317	305	382	125.2
15～20m未満	131	192	207	228	110.1
20m以上	253	380	383	447	116.7
合計	946	1,413	1,499	1,816	121.1
前回からの増減	423	467	86	317	

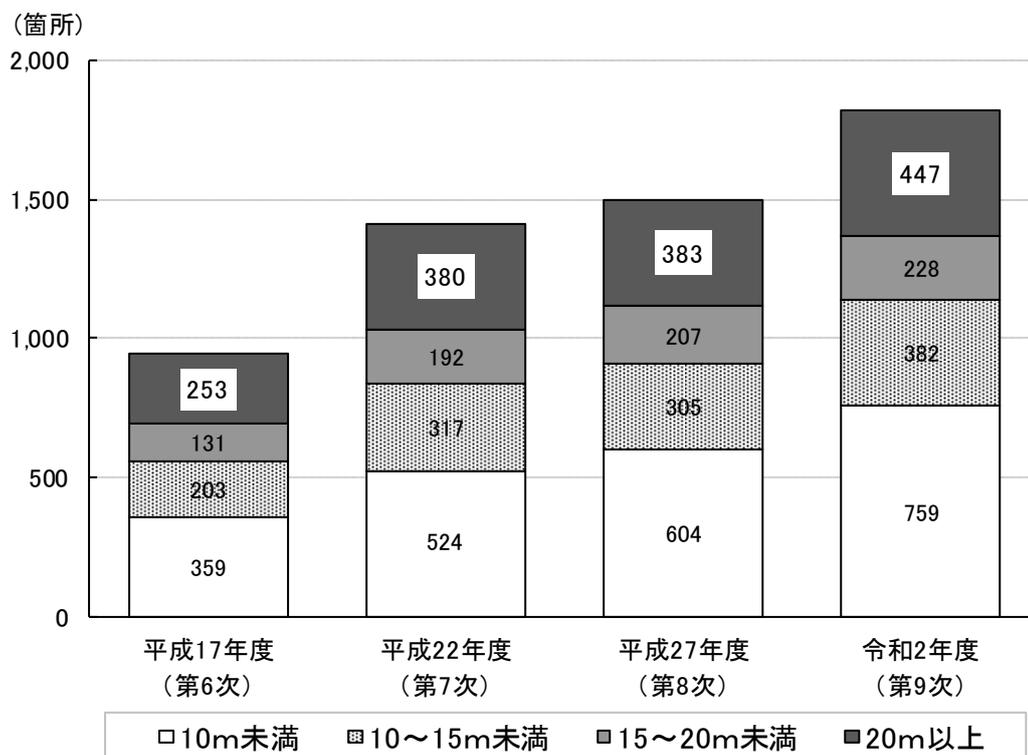


図8-12 長さ別生垣数の推移

10 地域別・長さ別の生垣数と延長の推移を表 8-13 に示す。

区全体では 317 箇所の増加、延長は 4,379m の増加であった。全ての地域で箇所数、延長が増加であった。

延長では戸塚地域の増加が最も大きく 1,017m の増加、次いで柏木地域の 705m、大久保地域の 647m であった。

箇所数では、延長 10～15m 未満では落合第二地域と新宿駅周辺地域で減少しており、15～20m 未満では落合第二地域、落合第一地域、若松地域で減少している。

新たに整備された生垣の主なものは、南元町の集合住宅、西落合二丁目と大久保三丁目の事業所であった。

表 8-13 10 地域別・長さ別の生垣数と延長の推移

地域	箇所数（箇所）															植栽延長（m）		
	10m未満			10～15m未満			15～20m未満			20m以上			合計			H27	R2	変化
	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化	H27	R2	変化			
四谷地域	59	70	11	34	40	6	27	35	8	57	64	7	177	209	32	3,837	4,303	466
笹笹地域	61	71	10	32	43	11	22	29	7	42	52	10	157	195	38	2,997	3,561	564
榎地域	57	69	12	21	30	9	12	13	1	22	27	5	112	139	27	1,614	2,003	389
若松地域	39	45	6	16	23	7	17	16	△1	17	21	4	89	105	16	1,327	1,606	278
大久保地域	43	55	12	16	24	8	21	25	4	40	52	12	120	156	36	2,780	3,427	647
戸塚地域	75	124	49	36	61	25	25	27	2	56	67	11	192	279	87	3,313	4,330	1,017
落合第一地域	100	104	4	55	62	7	31	29	△2	51	52	1	237	247	10	3,676	3,799	123
落合第二地域	128	149	21	64	60	△4	38	34	△4	54	56	2	284	299	15	4,191	4,210	19
柏木地域	21	43	22	16	26	10	10	15	5	23	32	9	70	116	46	1,373	2,078	705
新宿駅周辺地域	21	29	8	15	13	△2	4	5	1	21	24	3	61	71	10	1,099	1,270	171
区全体	604	759	155	305	382	77	207	228	21	383	447	64	1,499	1,816	317	26,208	30,587	4,379

\*延長は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

## ～ 季節を楽しむ生垣 ～

平成 28 年度に実施した区民意識調査で、「充実を望むみどりの種類」として挙げたのは、1 位が「街路樹などの歩いて目に触れるみどり」、3 位が「花壇や生け垣など住宅地のみどり」でした。

美しく整えられた生垣は、ブロック塀などに比べて災害に強いだけでなく、まちに潤いや柔らかさを与えてくれる地域の宝です。新宿区内でも、社寺や個人のお宅、マンションなどで見事な生垣を見ることができます。よく見かけるのはカイツカイブキやサワラ、マサキ、イヌツゲなどの緑の生垣ですが、若葉の紅色が印象的なベニカナメモチ、香りが秋の訪れを告げるキンモクセイ、冬を彩るサザンカなど、花や香りで季節を感じることでできる生垣もおすすめです。

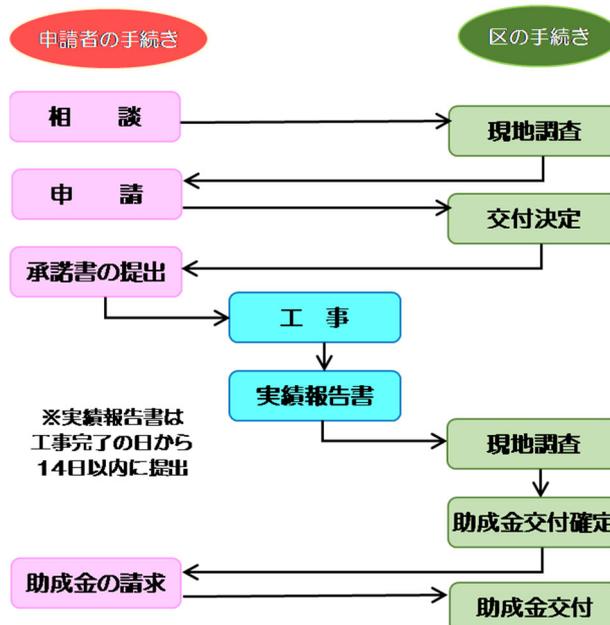


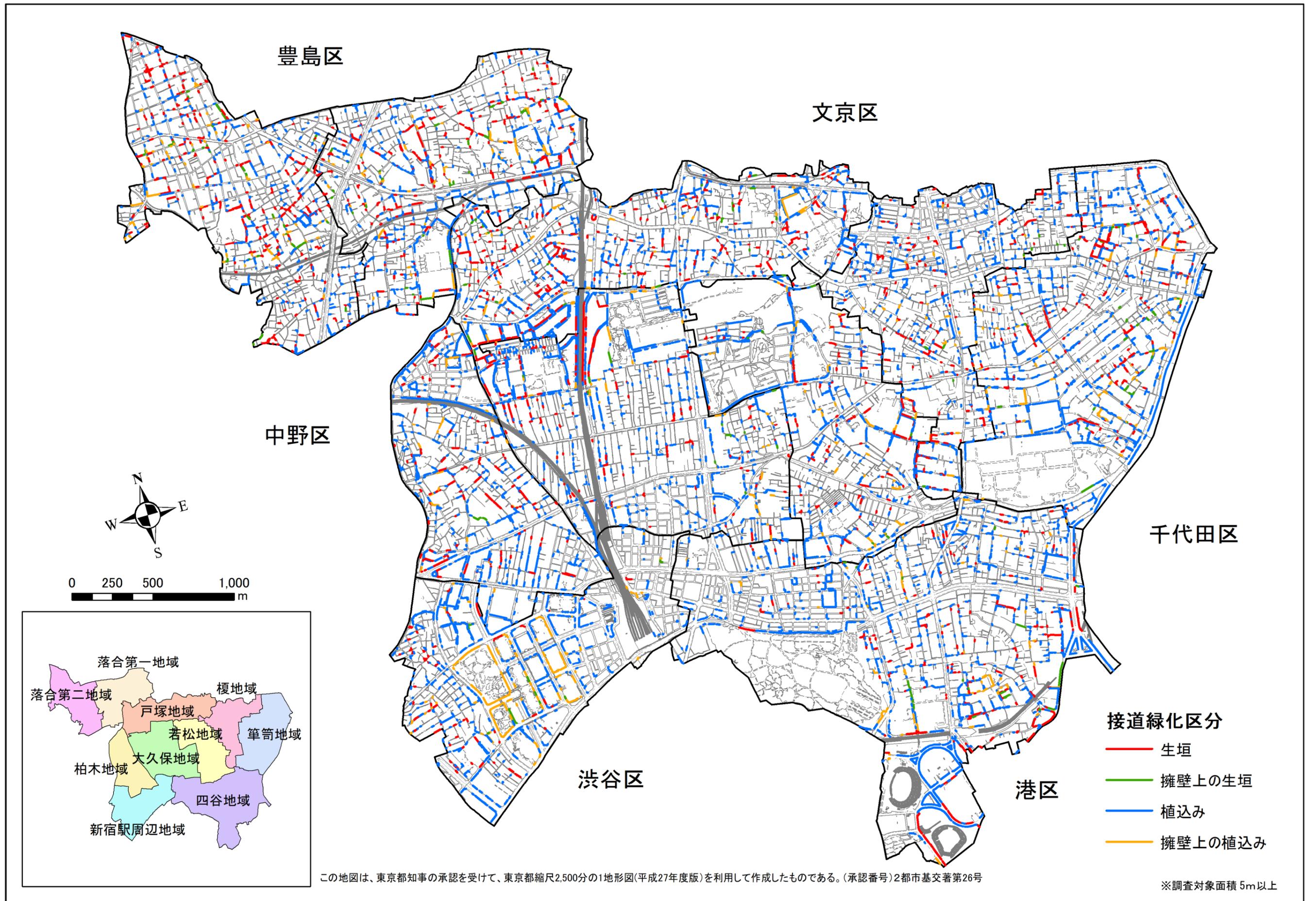
でんきゅうじ  
傳久寺（ベニカナメモチ）

新宿区では、ブロック塀などの倒壊を防ぎ、みどり豊かなまちの景観をつくるため、新宿区内に土地を所有または管理している方を対象に、生垣や植樹帯（高中木と低木を組み合わせた植込み）をつくる費用やその際のブロック塀等の撤去費用の一部を助成しています。敷地面積などの条件がありますので、制度の詳細については区にお問合わせください。

種別	助成の要件		単価	上限額
生垣新設	長さ 2 m 以上	高さ 1 m 以上 1.5 m 未満	17,000 円 / m	40 万円
		高さ 1.5 m 以上	21,000 円 / m	
植樹帯新設	以上	低木 + 中木	7,000 円 / m	
		低木 + 高木	14,000 円 / m	
ブロック塀 等の撤去	高さ 1 m 以上	万年塀の撤去	6,000 円 / m <sup>2</sup>	40 万円
		ブロック塀、 大谷石塀の撤去	12,000 円 / m <sup>2</sup>	

\*令和 3 年 2 月現在の  
助成額です。





この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図(平成27年度版)を利用して作成したものである。(承認番号)2都市基交著第26号

※調査対象面積 5m以上